

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|-----|-----------------|
| ○事業所名 | がまごおり・ふれあいの場 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年1月21日 | | ～ 2026年2月7日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 50名 | (回答者数) 42名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年1月21日 | | ～ 2026年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11名 | (回答者数) 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 常に保護者が一緒にいるため、子どもの様子を共有しやすい。 ※より強化・充実を図ることが期待されること | 定期的な面談だけでなく、日々の会話の中で思いをくみ、必要なら面談をしたり助言や実践を一緒にしている。子どもに合わせた支援方法を掲示している。 | 相談用紙を室内に設置し、相談しやすい雰囲気と共に方法を提示する。 |
| 2 | 療育室に常に複数の職員がいて、親子で一緒に活動しているの で、保護者が相談しやすい人、頼りになる人に話をする ことができる。 | 遊びや活動の時間などその都度、職員から話しかけることを心 掛けています。 | ・発達支援の現場だけでなく、家庭での生活がスムーズにな るよう、今後も保護者とのコミュニケーションを密にしなが ら継続して取り組む。 ・具体的な相談が受けられるスタッフを増やしていけるよう 努める。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 短時間の非常勤職員が複数いるため、話し合いや情報共有が難 しいところがある。 | 確実に情報が共有できる仕組みが必要。 | その時間にいる職員で、その日にあった活動の様子を伝え合 い、引き継ぎが必要な事項は不在の職員にも伝わるようライ ンワークスで共有する。 |
| 2 | 事業所が2階にあり、エレベーターがなく、バリアフリーと はいえません。 | 建物の2階に事業所があるため、身体に障害のある利用児や兄 弟児(乳児)がいる親御さんの階段の上がり下がり負担だ と思う。 | 移動に手伝いが必要な方には、駐車場まで職員が付き添って 手伝うようにしている。 |
| 3 | | | |